

様似郷土館だより

— 2024年 10月号 Vol. 7 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

9月には小学生と一緒に様似山道を歩いて解説したり、白老町のウポポイでマキリの調査をしたりと分野外の人たちとの交流の機会が多く、とても勉強になる一月でした。中旬には実家のある東京に帰省しましたが、連日30度越えて、北海道の気候に慣れきってしまった私には暑すぎる環境でした。国立科学博物館の特別展「昆虫MANIA C」では名前のとおりマニアックな昆虫の紹介がされており、面白い展示でした。様似町のチョウ、オサムシも展示され、企画展ではヒダカソウの展示もされていました！

様似郷土館には日々いろいろな相談が寄せられており、アポイ岳、観光地、様似山道、文化財などの質問が多いです。今年は特に昆虫に関する問い合わせも多く、カブトムシのいる場所、捕まえたカマキリの持ち込み、チョウの同定依頼、大量発生しているガの同定依頼(新冠、新ひだか、浦河で発生中)などがありました。様似町に関すること、昆虫に関してお困りの場合は、お気軽に様似郷土館まで♪(榎本尊)



カンカン講座 9月

【報告】

9月28日(土)に公民館にて「和紙のランプづくり」が開催されました。参加者は膨らませた風船に和紙を貼り付け、ランプを作りました。使う和紙の色や質感によって完成したランプの印象も異なり、楽しみながら作成していました。様似郷土館からは収蔵品のランプを紹介し、ランプをはじめとする灯明の歴史を解説しました。また、和紙を食べるシミ(紙魚)という昆虫について紹介しました。



昆虫紹介 「セイヨウシミ」

カンカン講座「和紙のランプづくり」でも解説をしたシミの仲間。古文書などの古い本などを食害する文化財害虫で図書館や家で古い本を開けた時に目撃した方もいるかと思います。様似郷土館の収蔵庫でも発見されており、防虫剤や粘着トラップを使用して対策をしています。



様似山道歩こう会(秋)

【予告】

【日 時】 11月4日(月:振替休日) 8:30~14:00

【場 所】 幌満コミュニティーセンター

【申 込】 様似郷土館まで(0146-36-3335)

【期 限】 10月30日(水)まで

【参加料】 無料

【内 容】 国指定史跡の様似山道を一緒に歩きませんか!? 詳細は様似町HPのお知らせ欄を参照ください。

2024年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館日	2	3	4	5
6	7 休館日	8	9	10	11	12
13	14 祝日	15 休館日	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23	24	25	26
27	28 休館日	29	30	31		

10:00~16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

【月 日】 9月13日(金)

【場 所】 緑町生活館

【講 師】 榎本 尊(様似郷土館)

【参加者】 34名

【内 容】 高齢者学級にて様似町の昆虫の紹介とクワガタやオサムシの標本展示を実施しました。様似町には魅力的な昆虫が多数生息しており、その一部をお伝えしました。参加者からは捕まえてきたハチの質問などがありました。



【講師報告】

様似小学校 宿泊体験学習「様似山道見学・勾玉づくり」

【月日】 9月5日(木)

【場所】 様似山道、様似町中央公民館 小ホール

【講師】 ①様似山道：加藤学芸員、榎本学芸員 ②勾玉づくり：榎本学芸員

【内容】 様似小学校5年生とともにコトニ口から様似山道を歩きました。加藤学芸員からは地質の解説をしていただき、榎本学芸員からは山道の成り立ち、碍子や昆虫の解説をしました。往復3時間の時間制限がある中でしたが、参加者は怪我無く、楽しんで実習を終えました。午後からは公民館で勾玉づくりとシカ角のペーパーナイフづくりを実施しました。蠟石を紙ヤスリで削り、色付けして完成ですが、小学生たちは苦勞しながらも頑張って作成し、全員が勾玉を完成できました。皆、積極的に取り組んでおり、いい実習だったと思います！



【協力報告】

浦河町立郷土資料館 企画展「ふるわれた筆跡 西忠義展」への資料貸出

【月日】 8月10日(土)～9月1日(日)

【場所】 総合文化会館2階アートホール

【内容】 浦河支庁長として多大な功績を遺した西忠義氏の展示に当館の資料を2点貸出、1点が会場で展示されました。

【調査報告】

国立アイヌ民族博物館でのマキリ調査

【月日】 9月20日(金)～21(土)

【場所】 白老町 国立アイヌ民族博物館

【内容】 様似郷土館で収蔵しているマキリ1点の調査を実施しました。調査内容や結果については成果が公表されるまでお待ちください。滞在中に開催中の特別展「驚異と怪異 想像界に生きものたち」のギャラリートークに参加しました。日本や海外の怪異や文化を紹介されており、印象に残るとても面白い展示でした。



【寄贈報告】

昆虫標本の寄贈受入

【月日】 9月23日(月)

【場所】 帯広市 大和興三記念館

【内容】 8月に続き、昆虫標本110箱を受け入れました。常設展示はしていませんが、榎本在中であれば、見学可能です。